

狂犬病についての Q&A



Q1. 狂犬病ってどんな病気？

- A1.** 狂犬病は、人間と動物に共通する**狂犬病ウイルス**に感染することで発症する、**致死率ほぼ100%**の恐ろしい**感染症**です。感染しても潜伏期間が長くすぐに発症しませんが、いったん発症してしまうと、現代医学では**治療法がありません**。

Q2. 発生している場所はどこがあるの？

- A2.** **世界中で発生**しており、毎年およそ**5万人以上**がこの病気で**死亡**しています。このうち、約3万人がアジア地域で死亡していると言われます。狂犬病が発生していない地域は、日本を含めてわずかに11の国・地域だけです。
かつては日本でも発生していました。しかし、犬の登録、狂犬病予防注射の実施、野犬の収容などを実施することで、1957年頃に撲滅しました。以来、日本では発生していません。

狂犬病の発生がない国・地域 (H25.7.25現在)



日本、英国、オーストラリア、ニュージーランド、アイスランド、アイルランド、スウェーデン、ノルウェー、ハワイ、グアム、フィジー諸島

※以前は、台湾も含まれていましたが、平成25年に発生が確認されました。

Q3. どうやって感染するの？

- A3.** ほとんどの場合、狂犬病ウイルスに感染した**犬(野犬も含む)にかまれる**ことによって感染しています。
他に、アライグマやオオカミなどの野生動物にかまれることで、感染する場合があります。

Q4. 予防法はあるの？

- A4.** 狂犬病には**ワクチンの接種**が有効です。**飼い犬**には、**毎年1回予防注射**を実施することで予防ができます。また、万が一、人がかまれても、発症する前にワクチンを接種すれば、予防できます。



Q5. 日本で発生していないのなら、予防注射はいらない？

- A5.** 日本に**輸入される犬の9割は狂犬病が発生している国・地域から**のもので、
また、密輸等の不正な輸入や、海外からの船舶に紛れ込んで上陸したり、コンテナや貨物とともに不法に上陸する可能性もあります。
さらに、アライグマなど狂犬病ウイルスを媒介する野生動物が、急速に日本で増えています。
平成18年には、**海外で犬にかまれ**、帰国後に発症して**死亡**した事例もあります。



このように、現在発生していなからといって、決して安全とは言えないのです。

犬の**登録**と**予防注射**は、

- ①**狂犬病の発生を防ぐ**とともに、もし発生した場合に、
- ②**被害を最小限に食い止める**ために、必要不可欠なものです。



犬の登録を行ない、狂犬病予防注射を受けましょう